

研究課題：がん医療の均てん化に資するがん診療連携拠点病院の機能強化に関する研究

課題番号：H19-がん臨床-一般-003

主任研究者：国立がんセンターがん対策情報センター がん対策情報センター長  
加藤抱一

## 1. 本年度の研究成果

本年度は、米国において既に長年がん診療病院の認定を行っている米国外科学会（American College of Surgeons : ACoS）の「Commission on Cancer (CoC)」認定・評価プログラム「Cancer Program Standards」の内容を吟味し、これを参考にして現行のがん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）の指定要件および要報告内容の改善案の原案を作成した。

放射線診断および放射線治療については、現行の指定要件では項目が区別されていないが、別途指定すべきと考えられた。また、放射線治療の実績として、現行では「放射線治療件数」を記載するが、患者一人あたり複数回の治療がなされるため、治療患者数と件数の両者を報告する必要があると思われた。IVR (Interventional Radiology) では、救急的処置として確立されている手技と、手術や放射線治療、薬物療法と並列して主たる治療オプションとなり得る手技の両者を含んでいる。前者については指定要件に盛り込むことは妥当と思われるが、後者については科学的評価が定まっていないうちにも含まれており、個々の技術ごとに吟味する必要がある。平成 19 年度は、「日本インターベンショナルラジオロジー学会」の専門医リストから、IVR 専門医のいる拠点病院をカウントした。都道府県拠点病院 32 のうち 23 病院（72%）、地域拠点病院 254 のうち 65 病院（26%）に専門医がおり、都道府県拠点病院での充足度は高いと思われた。病理診断については、施設と病理専門医それぞれが日本病理学会認定を受けているかどうかを要報告内容に含めるべきであり、さらに自施設で病理診断・細胞診を行った患者割合の要件（例：90%以上）をどの程度に設定するのが妥当であるかを今後検討する必要がある。薬物療法については、薬物療法の担当科、学会認定の専門医師・薬剤師・看護師の人数、他職種間のミーティングの有無、セカンドオピニオン対応、治療レジメンの標準化とレジメン登録、職員に対する専門的教育を受ける機会の保証、循環器・透析・神経内科等の一般内科診療体制の確保や連携体制、地域医療機関との連携体制、等を指定要件に盛り込む必要があると思われた。臨床試験については、CRC（臨床研究コーディネーター）、データマネージャー、生物統計家の有無と人数、年次別の新入院および新患外来それぞれについて、がん患者数のうち、治験に登録した患者数、研究者主導臨床試験に登録した患者数を拠点病院からの要報告事項に含めるべきと考えられた。緩和ケアでは、現状の制度的・人的な制約の中での診療実態について考察した。相談支援センター支援については、拠点病院の相談支援センター相談員の講習会を開催し、講義とグループディスカッションにより、情報共有と問題点の検討を行った。

## 2. 前年までの研究成果

本研究班は本年度が初年度のため該当せず。

### 3. 研究成果の意義及び今後の発展性

がん患者がその居住地によらず、等しく適切ながん医療を受けるためには、診療の質の施設間差を是正し、標準化する必要がある。本研究における「がん医療の均てん化」とは、がん診療の標準化と患者・患者家族への適切な情報提供等を図ることにより、日本全国すべての地域におけるがん診療を現状よりも高いレベルで平均化することをさすこととする。本研究の目的は、とくに施設間差が目立つ診療分野を中心に、拠点病院の診療機能を支援・強化し、がん医療の均てん化を推進するための医療体制を整備するための方法論を検討し確立することである。より具体的な目標としては、現行の、都道府県知事による推薦書の添付書類として厚生労働大臣に提出されている拠点病院の指定要件を詳細かつ網羅的に検討し、より適切な指定要件へと改善するための提言を本研究班の報告書としてまとめることとする。機能強化の必要性が高い診療分野として、本年度は、病理診断、放射線画像診断および IVR、消化管内視鏡診断および内視鏡治療、放射線治療、抗がん剤治療（外来通院治療を含む）、緩和ケア等の診療分野について、均てん化による機能強化につながる指定要件を検討した。

来年度以降は、指定要件の改善案について各分野の専門家間で peer review を行い、施設調査が必要と判断された項目については、他の研究班との無駄な重複がないよう配慮しつつ、施設調査を行って「指定要件改善への提言」としてまとめることとする。

### 4. 倫理面への配慮

本研究は特定の患者・被験者を対象とするものではなく個人情報も用いないため、疫学指針や臨床指針、ヘルシンキ宣言で示されている特段の倫理上の問題は生じない。

### 5. 発表論文

1. 加藤抱一. 視点 国立初の施設・がん対策情報センター設立 がん医療水準の均てん化めざす「一般」「医療関係者」「連携拠点病院」向けの情報発信. CLINIC magazine 34 : 7, 2007.
2. 加藤抱一. 医療クローズアップ 国立がんセンターが”がん情報サービス”のサイトをオープン. けんぽだより No.132 15, 2007.
3. 若尾文彦、加藤抱一. 特集 がんの治療ー一般医が知っておきたい治療動向がん対策情報センター. CLINICAL PRACTICE 6 : 229-230, 2007.
4. 加藤抱一. 巻頭言 住民に知らせたいがん情報. 季刊 きんむ医 No.140 1-2, 2007.
5. 石倉 聡、加藤抱一. 展望 がん対策情報センターに求められる役割ー放射線治療品質管理の観点からー ISOTOPE NEWS No.638 6-12, 2007.
6. 加藤抱一、ニュース・トピックス がん対策情報センターの活動. 加仁 34号 56-59, 2007.

6. 研究組織

①研究者名	②分担する研究項目	③最終卒業学校・卒業年次・学位及び専攻科目	④所属機関及び現在の専門(研究実施場所)	⑤所属機関における職名
加藤 抱一	がん医療の均てん化に資するがん診療連携拠点病院の機能強化	東京大学医学部・昭和46年卒業・医博・外科学	国立がんセンターがん対策情報センター・腫瘍外科学(同上)	センター長
女屋 博昭	画像診断分野における拠点病院機能強化	筑波大学大学院・平成9年修了・博士・形態系	同臨床試験・診療支援部画像診断コンサルテーション推進室・形態学(同上)	室長
高橋 正秀	Interventional Radiology分野における拠点病院機能強化	筑波大学医学部/1992年(平成4年)卒業/医博/画像診断,IVR	国立がんセンター中央病院放射線診断部ラジオアイソトープ診断室・IVR(同上)	医員
小野 裕之	内視鏡診断・治療分野における拠点病院機能強化	札幌医科大学・昭和62年卒業・医学士・消化器内視鏡学、内視鏡治療学	静岡県立静岡がんセンター内視鏡科・消化管早期癌の診断と治療(同上)	部長
山城 勝重	病理診断分野における拠点病院機能強化	北海道大学大学院・昭和59年修了・医博・病理学	国立病院機構北海道がんセンター・病理診断、細胞診断、テレパソロジー(同上)	臨床研究部長
葛 幸治	病理診断分野における拠点病院機能強化	関西医科大学大学院医学研究科・平成14年修了・医博・病理学	国立がんセンター中央病院臨床検査部・病理学(同上)	医員
池田 恢	放射線治療分野における拠点病院機能強化	大阪大学医学部・昭和42年卒業・医博・放射線腫瘍学	同放射線治療部・放射線腫瘍学(同上)	部長
荻野 尚	放射線治療分野における拠点病院機能強化	千葉大学医学部・昭和57年卒業・医博・放射線腫瘍学	国立がんセンター東病院臨床開発センター粒子線医学開発部・放射線腫瘍学(同上)	部長
島田 安博	化学療法分野における拠点病院機能強化	岡山大学医学部・昭和56年卒業・消化器内科学	国立がんセンター中央病院消化器内科・内科学(同上)	胃科医長
山本 信之	化学療法分野における拠点病院機能強化	和歌山県立医科大学・平成元年卒業・医・臨床腫瘍学	静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科・固形癌特に胸部悪性腫瘍内科的治療(同上)	部長
清水千佳子	化学療法分野における拠点病院機能強化	東京医科歯科大学・平成8年卒業・乳癌薬物療法	国立がんセンター中央病院乳腺・腫瘍内科・乳癌薬物療法(同上)	医員
福田 治彦	多施設共同臨床試験参加を通しての拠点病院機能強化の方法論の研究	神戸大学・昭和62年卒業・医学士・内科・臨床試験方法論	同がん対策情報センター臨床試験・診療支援部・内科・臨床試験方法論(同上)	部長
門田 和気	緩和ケア分野における拠点病院機能強化	金沢医科大学・昭和57年卒業・医博・麻酔学	同中央病院手術部麻酔・緩和ケア科・麻酔学(同上)	医員
佐伯 俊成	緩和ケア分野における拠点病院機能強化	広島大学医学部・昭和60年卒業・医博・精神腫瘍学	広島大学大学院医歯薬学総合研究科・総合診療医学(同上)	助教授
大松 重宏	拠点病院における相談支援機能の強化	関西学院大学社会学部・昭和54年卒業・学士・社会学	国立がんセンター運営局医事第一課・社会福祉(同上)	医療社会事業専門職
三原 華子	拠点病院における相談支援機能の強化	ハーバード大学公衆衛生大学院・平16年修了・公衆衛生修士・家族地域保健	同がん対策情報センターがん情報・統計部がん医療情報コンテンツ室ヘルスサービスリサーチ	室員